

第3回まんのう町地域公共交通計画策定に係る協議会 議事要旨

- 1 開催日時 令和6年1月17日（水）14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 まんのう町役場 3階 大会議室
- 3 出席者
 - <委員> 15名
 - <代理出席> 5名
 - <株GPMO> 2名
 - <事務局> 3名
- 4 欠席者
 - <委員> 3名
- 5 協議事項
 - (1) 住民アンケート調査の報告について
 - (2) あいあいタクシー利用所のアンケート調査の報告について
 - (3) ヒアリング結果の報告
 - (4) まんのう町の現況・問題・課題について
 - (5) その他

議事要旨

1. 開会

- ・事務局：開会挨拶と配布資料の説明（省略）

2. 会長あいさつ

- ・会長：挨拶（省略）
- ・事務局：委員の出席状況、議会の成立について報告（省略）

3. 議事

(1) 住民アンケート調査の報告

- ・事務局：「住民アンケート調査の報告」資料1の説明（省略）

(2) あいあいタクシー利用者アンケート調査の報告

- ・事務局：「あいあいタクシー利用者アンケート調査の報告」資料2の説明（省略）

(3) ヒアリング結果の報告

- ・事務局：「ヒアリング結果の報告」資料3の説明（省略）

(4) まんのう町の現況・問題・課題について

- ・事務局：「まんのう町の現況・問題点・課題」資料4-1、4-2の説明（省略）

【質疑】

- ・委員 A：まんのう町から丸亀市や高松市に多数移動しているとのことなので、ことでん岡田駅を西の拠点として整備していきたい。
- ・委員 B：アンケートの回収率が良い。路線バスに特化して思った印象は、学生の回答率が少ないので「共通パス券を知らない、路線バスが必要ない」と出ているのではないか。また、通勤の利用者が少ないと感じた。乗り換えや待合環境が不便な点について改善することで利便性が向上するのではないか。
- ・委員 C：あいあいタクシーの週末の要望が高いが、実際に動かした場合の利用はどこまであるのか疑問である。運行の時間帯についてはもう少し早い・遅い時間帯の要望に関して、印象的には遅い便の需要はどこまであるのだろうかと感じる。
- ・委員 D：あいあいタクシーの利用者で、共通パス券を知らない方が半数以上いる。共通パス券は路線バスの定期にも使えるのでこれを知らない方がいるのは驚きである。
- ・事務局：年齢別でみると、年齢が上がるほど、あいあいタクシーを知っている傾向にある。地区別でみると、高篠地区の方で知らない方が多いのは、あいあいタクシーが使えない丸亀市へ行く方が多いのが理由ではないかと思う。
- ・会長：大半が車を使っているが、だから公共交通はいらぬ、という事にはならない。一方、あいあいタクシーは10年になるが、平日の高齢者の買い物や通院の時間帯のみであり、土日は動いていないので若い世代が知ら

ないのはその通りであると思われる。これから10年後に60歳になる世代を含めた若年層が知らないことに対して、どのように広めていくのかは、課題として見るべきなのか見極める必要がある。大多数の方は気軽に送迎を頼めるという地域の特性は良いが、送迎を頼めない3分の1の方に対して考えていかないといけない。今回の資料では、細かいところにも課題を抽出して良いと思う。

- ・副会長： あいあいタクシーを知っているかという質問に対して言葉を知っているだけなのか、共通パス券を知らないというのはどういうことなのか。
- ・事務局： あいあいタクシーという言葉を知っているという事で、共通パス券までは知らないとの認識である。
- ・副会長： あいあいタクシーの乗車券を購入する際、町は共通パス券について説明していないのか。
- ・事務局： 共通パス券は商工会の加盟店で販売している。あいあいタクシーを利用する際は役場で利用登録をしなければならないので、その際に共通パス券について説明している。共通パス券を知らない方は、あいあいタクシーが走っているのを知っている程度ではないかと思う。どういう乗り物かは知らないかもしれない。
- ・会長： アンケートの限界もあるので、資料2をベースにしながら直接住民の方にあいあいタクシーの認知度について今後、聞いてみてはどうか。
- ・委員 B： 資料4-1の移動実態について、1位として丸亀市に行かれています方が多いが、美合地区の方が同じ美合地区が1位になっているのはどういうことか。
- ・事務局： 美合地区内での移動が一番多いということである。
- ・会長： 林業などその地区内で仕事をされているのではないかと思う。
- ・事務局： その解釈も考えられる。
- ・会長： 大多数の方が丸亀市とのつながりが強いのは地域の特性である。感覚で感じていたが、アンケートを取って実際数字として出てくると驚く。
- ・事務局： 補足説明として、運転していない方の中で気兼ねなく送迎を頼むことができないと回答された方の特徴的なことは、60～69才で半分以上の方が送迎を頼むことができる人がいないという事を考慮して、あいあいタクシーの運行を考えていく必要があると考える。
- ・会長： 個別の事情ではないかとも思う。一部の送迎を頼めない方にどのように対応するか、特に山間部では個別に対応策を考えていかなければならない。
- ・委員 E： 資料4-1移動の実態で、通勤通学で丸亀市に移動される方が多いが、丸亀市は広いので丸亀市のどこなのか詳細に把握できているのか。公共交通のどのようなルートで行かれているのか。今回のアンケートで把握できているのか。
- ・事務局： 本アンケートからは詳細な丸亀市の地域名まではわからない。詳細なことについては、今回のアンケートをもとにして、丸亀市との関連について

て深掘りしたアンケートが必要になってくる。

- ・ 会 長： 資料 1 の 14 ページから通勤者は 20～40 代でばらつきがあると感じる。通学先の方はわかると思う。JR やバスを使って通勤している方はあまりいないのでバス会社、JR、琴電の方で調べられるかもしれない。
- ・ 委 員 E： 資料 4-2 の中で「公共交通の構築」という課題に対してどう解決策を出すのか気になる。
- ・ 会 長： 現状、路線バスが丸亀市と南北につながっており、鉄道は東西に移動できるようになっており、公共交通があるが上手に使える状況ではない。まずは通学で使って貰えるようにしてはどうか。また、年に 2 回でもバスを使おうと思った時に使えるのが重要である。どの程度若い世代がことでん岡田駅等でパークアンドライドができるかがポイントである。外から来る人に関して、現在、ことでん岡田駅で降りるとその後の交通手段がない。行先として多い丸亀市との連携が大切である。これからは丸亀市内のバスのネットワークも見ないといけない。事務局に丸亀市との連携の調整を頼みたい。
資料 4-2 に関して足りないこと等を重点的に見てほしい。交通業者の方にも課題を挙げてほしい。アンケートの集計を持ち帰り、気づいた点等を知らせてほしい。

(5) その他

- ・ 委 員 B： 地元の皆様にバスの運転手を募集していることを紹介してほしい。80 名程乗務員がほしいが、15 名程不足している。特に路線バスは減便を考えないといけない現状である。4 月からの 2024 年問題で乗務員が働けない状況になる。
弊社では大型 2 種免許の養成制度がある。大型 2 種免許の保持者には支度金制度がある。琴平観光センターで運転体験を 2～3 月に実施予定である。路線バスの運転手は地域に住んで仕事ができる。
- ・ 会 長： 公共交通の運転手は、当該地域で働けて、会社によっては雇用形態も考慮してもらえるので、農業従事者が多いまんのう町では、農閑期に働ける方なども意識すると良いのかもしれない。
- ・ 委 員 C： 琴平町で「琴平 mobi」というオンデマンドのタクシーを運行している。通勤、通学、通院、買い物について、まんのう町と隣接しているので利用の声があるのではないかと思う。あいあいタクシーとリンクさせて何かできないかと考えている。通学や夜間の習い事の送迎で子どもの利用も考えられる。
- ・ 会 長： 利用時間が朝 7 時から夜 10 時まで、休日も運行しているという点でまんのう町で利用する方も多いかも。引き続き情報共有してほしい。
- ・ 事 務 局： 「琴平 mobi」について、まんのう町もエリアに含みたいという提案をいただいている。通院先から買い物へ移動する方が多いので、小回りが利く乗り物が町内で必要だと考えている。まんのう町は観光面が弱く町内に

は宿泊施設がないため、近隣の宿泊施設からの移動等で必要性を感じている。次回、導入に向けて前向きに取り組むことを協議したい。

- ・ 会 長： 一つだけお伝えしたいことがある。車が使えなくなったら公共交通を利用するという話をよく聞くが、おそらく、この考え方は誤っているかもしれない。というのも、足腰が丈夫で、歩ける間は公共交通を利用できるが、歩けなくなると公共交通の利用はできなくなる。しかし、自動車の運転はなんとかできると言われている。やがて、自動車の運転ができなくなると、介護サービスしか利用できなくなる。もちろん、このような状態になると公共交通は利用することができない。このように、公共交通を利用できなくなったら介護サービスになるという認識をしてほしい。これから本計画を策定する際には、公共交通は高齢者のためだけではなく、みんなのためという意識で取り組んでほしい。

4. その他

- ・ 事 務 局： 現在、当初のスケジュールより遅れている。次回、第4回協議会で、「まんのう町地域公共交通計画案」を示して審議したいと考えている。「琴平mobi」についても審議したいと考えている。その後、パブリックコメントの実施を予定しており、パブリックコメントの結果について、令和6年度第1回公共交通会議にて報告したいと考えている。
- ・ 事 務 局： 次回、第4回協議会は『3月27日(水)の午後2時から』を予定している。

5. 閉会

- ・ 事 務 局： 閉会挨拶（省略）

以上